

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52301	保育内容総論 The childcare contents general remarks	林 幸	専門	1	必修	1 年 後期
科目の概要						
保育内容は5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)が相互に関わり合いながら日々の子どもの生活をつくり出している。そのため、乳幼児期に子どもが保育の中で経験する保育の内容について理解することが必要である。その基本となる「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども教育、保育要領」の歴史的変遷をについて学び、保育内容のあり方について考える。そのためには、子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景および保育の内容の基本的な考えを理解し、総合的に指導・援助につなげ考えて行なうことができるよう実践的な力を習得する。 ★保育所での保育士として実務経験があり、幼稚園教育要領や保育所保育指針に述べられている保育内容についてより実践的な講義を行う。						
学修内容			到達目標			
① 保育の基本、保育内容の理解を深める ② 保育を取り巻く歴史的変遷を理解し、示されている領域の成り立ちと意味を学ぶ ③ 保育現場の状況を具体的にイメージし保育内容を理解する ④ 保育の基本を踏まえ、各年齢と保育内容の関係を理解する ⑤ 保育の多様な展開を学ぶ			① 保育の基本、保育内容とはどのようなものを理解する ② 保育を取り巻く歴史的変遷を知り、領域の内容を理解し、遊びと生活を通して学ぶとはどのようなことかを理解する ③ 保育は領域が総合的に組み合わせられ展開されていくことを理解する ④ 子ども理解や発達の特徴を捉え保育内容を考え保育の基本を踏まえた保育実践力を身につける ⑤ 保育の多様性を理解し、その中で展開する保育内容を深めることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	保育内容について理解し、5 領域を意識して保育内容を考えることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	保育内容を実践に結び付け計画を作成する。				
考え抜く力	課題発見力	実際の保育現場において保育内容を理解し、それぞれの領域について分析できる。				
	計画力					
	創造力	5 領域を意識して保育内容をつくりだすことができる。				
チームで働く力	発信力	グループワークの中で自分の意見を相手が理解できるように整理して話すことができる。				
	傾聴力	他者の意見を聞き、自分の考えと照らし合わせ、共感、相違点等整理することができる。				
	柔軟性					
	状況把握力	グループワークの中で周囲の反応を見ながら、自分の役割を理解し協力して進める。				
	規律性	講義開始時間や提出期限や時間などには余裕をもって対応する。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:『演習・保育内容総論』井上孝之 山崎敦子 編 みらい 参考文献:『幼稚園教育要領解説』文部科学省、『保育所保育指針解説書』厚生労働省、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説、』内閣府、文部科学省、厚生労働省、						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:保育原理、教育原理、保育内容(健康)、保育内容(人間関係)、保育内容(環境)、保育内容(言葉)、保育内容(表現) 資格との関連:幼稚園教諭2種免許・保育士						
学修上の助言			受講生とのルール			
身近な保育所や幼稚園・認定こども園の様子やそこに通園する子ども又は身近な子どもの様子など日頃より関心を持ち観察しておくことよい。 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』を事前に熟読しておくこと			テキストや指針や要領を必ず持参のこと 授業での予習、復習や授業中のレポート提出をするので聞き漏らさないようにすること。 演習はグループ中心に行うので、積極的に取り組み、協力的な態度で参加、1度は発表者、記録者になること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
小テスト	30	①	✓	3回のテストを平均して判断する。 ① 保育の歴史的変遷や保育内容について理解している ② 保育内容が総合的に展開する意味を理解している ③ 年齢と保育内容の関係性を理解している
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
レポート	50	①	✓	1回:5点 10回(1,5, 10,14, 15回を除く)の授業で、保育内容に関してのレポートを作成する。また必ず課題を出題するので次の授業までに調べ自分の意見としてまとめ提出する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)	10	①		模擬保育実践を行う。(事前準備 2 点、当日の実践態度 2 点)4 点 プレゼンテーションの成果 3 点 記録のまとめ方 3 点
		②		
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)保育内容について理解し、5 領域を意識して保育内容を考えることができる。 (実行力)保育内容を実践に結び付け計画を作成できる。 (課題発見力)実際の保育現場において保育内容を理解し、それぞれの領域について分析できる。 (創造性)5 領域を意識して保育内容をつくりだすことができる。 (発信力)グループワークの中で自分の意見を相手が理解できるように整理して話すことができる。 (傾聴力)他者の意見を聞き、自分の考えと照らし合わせ、共感、相違点等整理することができる。 (情報把握力)グループワークの中で周囲の反応を見ながら、自分の役割を理解し協力して進める。 (規律性)講義開始時間や提出期限や時間などには余裕をもって対応する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
授業の内容を理解し、自分の考えや理解したことを意欲的に発表し、レポートにおいては授業の内容を理解しそのうえで自分の考えを持ち、まとめることができている。 総合評価 90 以上はS(秀)、89～80 はA(優)とする	授業内での課題に対してそれに沿った意見やレポートの作成提出ができる。 総合評価 79～70 はB(良)、69～60 はC(可)とする

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 幼児教育・保育の基本を知る	講義 本日の振り返りと質疑 応答	学習の目的、進め方、受講態度、評価方法などについての説明を聞き理解する。	(予習) 幼児教育・保育について知っていることをまとめる。	45 45	傾聴力 課題発 見力
2週 /	幼児教育・保育の保育内容について	講義 グループワーク 発表 本日の振り返りと質疑 応答	保育の全体的構造を学び保育内容の視点を理解する。	(予習) 幼児期にどのようなことをして遊んでいたのか振り返りまとめておく (復習) 本日の気づきをまとめておく	45 45	発信力 傾聴力
3週 /	幼稚園・保育所の一日を学び生活と遊びの重要性	講義 DVD 鑑賞 本日の振り返りと質疑 応答	幼稚園・保育所・こども園の一日流れを把握し、遊びを中心とした保育を理解する。	(予習) 幼稚園・保育園・こども園での生活について調べておく (復習) 幼稚園・保育園・こども園の一日の流れをまとめる。	45 45	課題発 見力 傾聴力
4週 /	こどもの育ちと保育内容	講義 DVD鑑賞 本日の振り返りと質疑 応答	こどもの育ちと保育内容の関係を理解するために発達の特徴を理解し乳幼児期の発達の特徴に応じた保育内容を理解する。	(予習) 乳幼児期の大まかな発達の特徴を調べておく。 (復習) 乳幼児期の大まかな発達の特徴をまとめる。	45 45	課題発 見力 傾聴力
5週 /	保育内容の展開方法	ミニテスト 講義 演習 グループワーク 本日の振り返りと質疑 応答	乳幼児期の保育内容は用語と教育一体的に展開することや、環境を通して行うことを理解できる。	(予習) こどもにとっての遊びや生活を考えておく (復習) 遊びで育つための環境とは何かをまとめる。	45 45	主体性 発信力 傾聴力
6週 /	0 歳児の保育内容	講義 グループワーク 発表 本日の振り返りと質疑 応答	0歳児の発達の特徴を理解し保育内容のポイントを知る	(予習) 0 歳の発達を調べる。 (復習) 0歳児の発達の特徴や保育内容のポイントをまとめる。	45 45	発信力 傾聴力
7週 /	1 歳児の保育内容	前回の理解度チェック 講義 グループワーク発表 本日の振り返りと質疑 応答	1歳児の発達の特徴を理解し保育内容のポイントを知る	(予習) 1 歳児の発達を調べる。 (復習) 1歳児の発達の特徴や保育内容のポイントをまとめる。	45 45	課題発 見力
8週 /	2 歳児の保育内容	前回の理解度チェック 演習 グループワーク 発表 本日の振り返りと質疑 応答	2歳児の発達の特徴を理解し保育内容のポイントを知る	(予習) 2 歳児の発達を調べる。 (復習) 2歳児の発達の特徴や保育内容のポイントをまとめる。	45 45	課題発 見力 主体性 発信力 傾聴力
9週 /	3 歳児の保育内容	前回の理解度チェック 講義 グループワーク 発表 本日の振り返りと質疑 応答	3歳児の発達の特徴を理解し保育内容のポイントを知る	(予習) 3 歳児の発達を調べる。 (復習) 3歳児の発達の特徴や保育内容のポイントをまとめる。	45 45	課題発 見力 主体性 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
10 週 /	4 歳児の保育内容	講義 グループワーク 発表 本日の振り返りと質疑応答	4歳児の発達の特徴を理解し保育内容のポイントを 知る	(予習)4 歳児の発達を調べる。 (復習)4歳児の発達の特徴や保育内容のポイントをまとめる。	45 45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
11週 /	5 歳児の保育内容	前回の理解度チェック 演習 グループワーク 発表 本日の振り返りと質疑応答	5歳児の発達の特徴を理解し保育内容のポイントを 知る	(予習)5 歳児の発達を調べる。 (復習)5歳児の発達の特徴や保育内容のポイントをまとめる。	45 45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
12 週 /	保育の計画と観察・記録と評価	前回の理解度チェック 講義 本日の振り返りと質疑応答	保育における計画の意義や、保育における観察や記録・評価について理解する。	(予習)保育の計画とは何かをまとめる。 (復習)保育の計画の重要性や観察法、評価の関係性をまとめる。	45 45	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
13 週 /	保育内容の歴史的変遷	前回の確認チェック 講義 本日の振り返りと質疑応答	保育内容の歴史的変遷を調べながらなぜ今に至っているのかを考えることができる。	(予習)幼稚園・保育園の歴史について調べまとめておく。 (復習)歴史的編成をまとめる。	45 45	主体性 実行力 発信力 傾聴力
14 週 /	多様な保育ニーズと保育内容	ミニテスト 講義 本日の振り返りと質疑応答	多様な保育ニーズがある現状を把握し、以下に対応していくのかを考えることができる。	(予習)子どもの文化財は何かテキストを読む。 (復習)多様なニーズに対しての保育内容をまとめる。	45 45	課題発見力 発信力 傾聴力
15 週 /	保育内容の向上をめざして	グループワーク 保育内容の向上について自己課題を発表し合う。	保育内容の向上について自己課題を見つけ対応を考えることができる。	(予習)216～226 を読み、自分の課題を見つけておく。	45	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力